

科 目 名	地域と社会	授 業 形 態	講義科目
担 当 者	関 駿 平	単 位 数	2単位

主体的な市民としていかに都市と関わるか

1. 授業内容

本授業では、第一に「都市はなにを生みだすか」、第二に「なにが都市を生み出すか」、そして第三に「都市とはどのような過程であるのか」という都市社会学の大きな問いへの研究動向を紹介することで都市について思索し、これからどのように都市/地域との関係を取り結んでいくのかを探究する。より詳しくは、第一の問いに沿って「都市は私たちの生活をどのように変えるのか」という問題を扱う。また、第二の問いに沿って「現代都市の変化」について扱う。さらに、第三の問いに沿って「時間と空間のダイナミズムのなかの具体的な都市」について扱う。なお、授業はテキストを中心に進めるが、そのなかで映像資料の提示や学生のリアクションペーパーなどを通じて理解を深める。教科書に加えて最新の研究動向を、授業の後半部に紹介する。

2. アクティブ・ラーニングの要素

リアクションペーパー

3. 到達目標

- ①社会学的なものの見方ができる。
- ②都市社会学の基礎概念を理解することができる。
- ③都市社会学の基礎理論・学説を理解することができる。
- ④理解したことを論理的に整理し、アウトプットすることができる。
- ⑤理解したことを論理的に整理し、独自の考察を加えてアウトプットすることができる。

4. 到達目標となる駿大社会人基礎力/養成する能力要素

- ①言語処理力／②非言語処理力／③情報収集力／④論理的・多面的思考力／⑤情報処理力／⑬課題発見力

5. 卒業認定・学位授与方針との関連

この科目はディプロマ・ポリシー(全学部)の「(5)総合的な力」と関連しており、地域社会現象を総合的にとらえる視点を身につける。

6. 関連科目

社会学A /社会学Ⅰ
社会学B /社会学Ⅱ

7. 授業外における学習方法及び必要な時間

事前学習：次回授業で扱う教科書の範囲を読む、次回テーマについて連想できる語句等を書籍やインターネットなどを使用して調べておく。(1時間)

事後学習：前回の授業内容のレジュメ・教科書を読み返す。自分なりに前回授業内容を説明できるようにする。(1時間)

8. 成績評価方法

評価方法	評価割合	成績評価基準等
リアクションペーパー	30%	到達目標①から④に対応して、授業ごとのリアクションペーパーの内容を評価する。
定期試験	70%	到達目標①から⑤に対応して、筆記試験を課す。

9. 課題に対するフィードバックの方法

授業終了ごとに提出されたリアクションペーパーの内容には、次の授業のはじめにフィードバックする。

10. 実務経験のある教員による授業科目等

担当教員の実務経験	実践的な教育の取組
—	—

授業計画	
第1回	都市社会学の問い／シカゴ学派の都市社会学
第2回	アーバンイズム
第3回	都市生態学と居住分化
第4回	地域コミュニティ
第5回	都市と社会的ネットワーク
第6回	都市圏の発展段階
第7回	情報化・グローバル化と都市再編／インナーシティの危機と再生
第8回	郊外のゆくえ
第9回	都市再生と創造都市／文化生産とまちづくり
第10回	アジアの都市再編と市民
第11回	ボランティアと市民社会 / 都市の防災力と復興力
第12回	都市社会学の現在地①都市論と都市社会学
第13回	都市社会学の現在地②都市とモノの社会学
第14回	都市社会学の現在地③惑星都市理論
第15回	まとめ

11. テキスト・参考書等

書名	著者	出版社	ISBN	備考
都市社会学・入門	松本康 [編]	有斐閣	978-4-641-22015-7	2014年出版。教科書。 各回の授業では必ず本 教科書を持ってくるこ と。